

令和6年度

予算概算要求概要

令和5年8月

国土交通省

1. 国民の安全・安心の確保

(5) 交通の安全・安心の確保

(a) 運輸分野の各モードにおける総合的な安全対策の推進 [124 億円(1.24)]

公共交通等における安全・安心の確保を図る取組を推進する。

(中略)

(航空)

- ・ 空港における航空機のオーバーラン対応等の安全性確保の推進
- ・ 小型航空機の安全対策の充実・強化
- ・ 「テロに強い空港」を目指した航空保安対策等の強化

2. 持続的な経済成長の実現

(1) ストック効果を重視した社会資本整備の戦略的かつ計画的な推進

我が国の経済を支える人流・物流ネットワークや、企業立地・設備投資を誘発するインフラなど、国内投資の拡大、生産性の向上等に資する社会資本を戦略的かつ計画的に整備する。

(中略)

(c) 航空ネットワークの充実 [151 億円(1.21)]

ポストコロナの経済社会の変化に対応するため、国際競争力の強化や訪日外国人旅行者の受入対応等に資する空港の機能強化等を計画的に推進する。

- ・ 羽田空港の国際競争力強化等のための空港アクセス鉄道、人工地盤、旧整備場地区再編等の整備
- ・ 成田空港における滑走路の新設等の更なる機能強化や新管制塔の整備等の着実な推進
- ・ 関西空港におけるエプロン整備等や中部空港における滑走路増設等の機能強化
- ・ 空港業務の体制強化に資する先進技術の導入促進

- ・ 航空路管制空域の再編による処理容量拡大等の推進
- ・ 福岡空港における滑走路増設事業及び北九州空港における滑走路延長事業の着実な推進
- ・ 那覇空港における国際線ターミナル地域再編整備等による地方空港のゲートウェイ機能の強化
- ・ 地方航空ネットワークの維持・活性化のための関係者間の協業の促進

※ 航空・空港を取り巻く環境変化に対応するため、ポストコロナにおける持続可能性と利便性の高い空港業務等のあり方を実現するために必要な措置について、今後の予算編成過程において検討する。

空港業務の体制強化等の取組推進

航空機の運航に必要な不可欠なグランドハンドリングや保安検査をはじめとする空港業務は、厳しい労働環境やコロナ禍の影響等により、コロナ禍前に比べて人員が約2割減少するなど、人手不足に直面しています。

国土交通省では、空港業務の持続的発展を図るため、空港業務全体を対象とした初の有識者会議を設置し、本年6月には「空港業務の持続的発展に向けたビジョン」の中間とりまとめを公表しました。この中間とりまとめでは、空港業務の内容や重要性を明確に位置付け、空港業務の持続的な発展のために重要な視点を設定し、視点ごとに洗い出した課題に対して、ハード・ソフト両面からの職場環境改善の推進や GSE 車両の共用化・共有化の推進などの取組の方向性を示しています。

また、保安検査の実施主体・費用負担のあり方についても、学識経験者や業界関係者からなる「保安検査に関する有識者会議」において検討を行い、本年6月には、実施主体は現在の航空会社から空港を一元的に管理する空港管理者に移行することを軸に検討を進める、費用は直接的な受益者である旅客から透明性を確保した形で負担頂きつつ、関係者の一定の負担からなる仕組みの構築を検討する、といった見直しの方向性を公表しました。

今後は、航空・空港関係事業者の人材確保・育成等や空港機能の効率的投資・運用に向けた取組を推進するとともに、保安検査を量的・質的にさらに向上させていく取組を推進します。